

「市広報みやざき」
読者コーナー
**MIYAZAKI
VOICE**

宮崎市民の思いをここに！
皆さんからの投稿を紹介します。

東九州自動車道が開通しましたが、これからは宮崎を売り込む絶好の機会です。私はバイクツーリングで本土のあちこちを回っていますが、こんなにビーチラインが綺麗なところはほかにはありません。まだまだPRが足りません。もっと民間との意見交換をしてはどうでしょうか？

E・Tさん(50代・男性)

はまってしまいました。面白いというより、ためになる。思わず、うなずいてしまいました。

Y・Tさん(40代・男性)

宮崎市は通勤族に優しい市です。宮崎市に引越してきてよかったです！

た色々な情報をお待ちしています。

Iさん(30代・女性)

郵便局で待つ間に手にしたのですが、内容が良かったので、もっとアッチコッチにあるといいなと思います。

M・Kさん(50代・女性)

宮崎市は各施設で大量にカラーのパンフレットを作って、児童全員に配る(兄弟数だけ)のでとても無駄だなあと感じています。こんなタウン紙のような広報紙に各施設の案内も効率よく掲載されていたら各施設のパンフレットも節約できるのではと思います。

R・Tさん(50代・女性)

とても読みやすかったです。注目記事は「自転車生活のすすめ」だったのですが、最後まで一気に読んでしまいました。幅広く色々な情報を知ることが出来ました。一気に読みのおかげでクロス

ワードもすぐにできました。実家でも74歳の父がクロスワードを解いた跡がありました(笑)

Y・Aさん(40代・女性)

孫と同居しはじめて、いろいろなところに連れていくのに「遊学感」が役に立っています。

T・Mさん(60代・男性)

市広報がリニューアルしてカラフルになりましたね。記事も工夫されているのがよくわかります。

Yさん(60代・女性)

今月も図書館に広報紙をもらいに行ったら、どこにあるか分からなかったほど、気付かず探してしまいました(笑)。読みやすく、親しみやすく、すつごく改善されたなあと驚きました。クロスワードも、楽しいですね！

Mさん(20代・女性)

各部署の特徴ある取り組みや担当職員の顔が見えるのもっと身近に感じるかも。

Tさん(50代・男性)

初めて最後まで目を通しました。2歳と生後2か月の子育て中で、毎日バタバタとしており、なかなか情報を得ることが難しいのですが、今住んでいる地域のこと(ババママ教室など)が記載されていたので、子どもを連れて参加したいと思います。

Kさん(30代・女性)

30年ぶりに宮崎に戻り、生活を始めました。道路環境が変わり、浦島太郎状態ですが、一ツ葉の変貌ぶりには特に違和感を感じます。あそこまで環境破壊をする必要があったのでしょうか。。

Kさん(50代・女性)

読者コーナーへの投稿募集中!

広報紙の感想やご要望、また日々感じていることなど、メッセージを募集しています。はがき、Eメール、特設サイトでどしどしご投稿ください。
【宛先】〒880-8505
宮崎市秘書課広報広聴室(住所不要)
メール 01kouhou@city.miyazaki.miyazaki.jp

自治会 NEWS



童心に返ってスイング!
大塚町・中区自治会

「2トマリ(泊)!!」「はいれ!」といった元気な声が響く高松橋下の河川敷。大塚町中区自治会の「グラウンド・ゴルフクラブ」では、毎週水・土曜の2回20人ほど集まってプレーを楽しんでいます。約2時間、童心に戻り、はしゃぎながら汗を流し、木陰で休憩を兼ねておしゃべりしながら交流を深めています。このほか同自治会では地域の花壇の手入れや、小学生の見守り・安全パトロールなど、地域の安全確保と美化推進にも取り組んでいます。「住みやすい街づくりのために、みんなで頑張っていきます」と自治会長の河野(こうの)さんは話してくれました。

市内の公園や街角などで見つけたとびっきりの笑顔をお届けします。

GOOD SMILE!!
(^^)u



元気にがんばれ!
誠太(せいたい)くん



ずっと仲良し兄弟でいてね!
優太郎(ゆうたろう)くん
正吾(しょうご)くん



ただいま自転車練習中
大地(だいち)くん



仲良し兄弟です!
朋弥(ともや)くん
龍弥(りゅうや)くん

情報ひろば

Information

● 深夜の花火を規制します

下記区域の公共の場所では、原則として深夜に花火をすることが禁止となります。

■禁止区域/青島・白浜地域の一部(下地図の赤線区域)

■禁止時間/22時~翌日6時

■禁止花火/ロケット花火、打ち上げ花火、回転花火、爆竹などの爆発音を出す花火

■罰則など/違反者に対して勧告や命令を行います。違反すると、5万円以下の罰金が科せられる場合があります(罰則は平成26年10月1日から施行)。

[問]環境保全課 ☎21-1761



● 防災士資格取得費用の一部を助成します

市内在住で県地域防災士養成研修を受講し、防災士資格取得後に地域の防災リーダーとして地元の自主防災組織などで活動する人に対し、防災士資格認証登録料(5,000円)を助成します。県地域防災士養成研修は7月~9月までに、県内12会場(市会場は8月9日)で実施予定です。詳しくは、県または市ホームページを確認してください。

[問]防災士養成研修...県危機管理課(☎26-7064)、防災士資格認証登録料...市危機管理課(☎21-1730)

● 就職説明会を行います

企業の個別ブースのほか、就職支援関係機関・団体コーナーも設置します。

■日時/8月11日(月)13時~16時(企業受け付けは12時から)

■場所/シーガイアコンベンションセンター サミットホール

■対象/参加企業...県内に事業所があり、地元での採用を目的とした雇用を計画している企業
求職者...一般求職者および来春学校卒業予定者(中学校・高校卒業予定者を除く)

[問]商業労政課(☎21-1792)または県地域雇用対策室(☎26-7105)

市長コラム



昭和40年代の青島海水浴場です。
青島は今も昔も
みんなで楽しめるスポットです。



青島の『再勢』に向けて

今年もまた暑い夏がやってきます。この熱気を吹き飛ばし、夏を乗り切るため、宮崎にはいろいろな知恵や工夫があります。例えば、食欲減退による夏バテの解消を目指して、夏野菜を使った料理や冷や汁などの食文化が普及しました。また、海や川、山など自然豊かで、花の咲き誇る宮崎は「癒しの源」であり、身近なところでいつでも心身をリラックスすることができます。

私は生保育で海水浴の機会がほとんどありませんでしたが、夏休みには地域ごぞって青島へ行くのが本当に楽しみでした。青島海水浴場は砂浜が広く、裸足で歩くと熱くて、駆け足で海に

飛び込んだことを思い出します。また、当時は豪華商品付きで「日焼け大会」が行われており、真っ黒に日焼けして参加していたものです。子どもの頃の私にとって、青島やこどものくには、ディズニーランドのような家族揃って楽しめる、憧れの場所でした。

さて、6月末に海開きも行われ、いよいよ青島の魅力が最も輝く季節の到来です。宮崎の宝である青島の『再勢』に向け、これからは知恵を絞って取り組んでいきます。市民の皆さんからもたくさんのアイデアをいただきたいと思っています。



◎コラムタイトルは戸敷市長の「宮崎市版・365日誕生花」であるネコノヒゲ(8月31日)にちなんだものです。